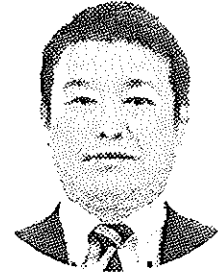
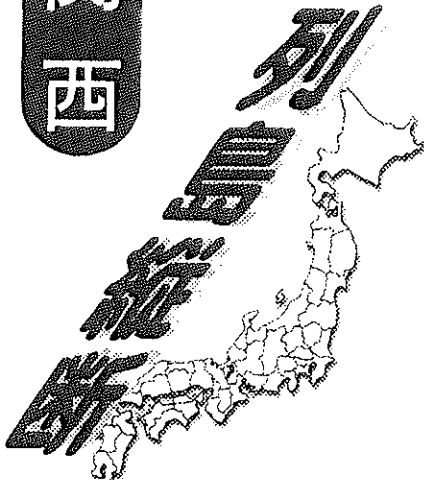


媒体名	鉄鋼新聞
掲載日	2017.9.21

## 各地の話題—北から南から

関西



清末 浩史氏  
(JFE商事ブリキセンター社長)

「『グリーン』な工場を目指したい」と話すのは、清末浩史JFE商事ブリキセンター社長。同社は2015年10月にJFE商事大阪ブリキセンターと新キヨイ鋼業が統合し、発足したブリキ加工販売専門会社。拠点は本社・松原

# 「クリーン」な工場目指したい

・東京にあり、加工・塗装から商社機能に至るまでを有している。昨年度の販売量は約4万トで、今期も同程度を見込むが、「一般缶が若干減っている。コスト削減から金属缶から紙の包装に切り替える動きがあるようだ」。

が、この強みを今後も維持できるように、老朽化更新は来期も引き続き検討したい。

今後の注力したい取り組みの一つに挙げるのが「クリーン」で、「当社は食品向けも扱っており、同分野だけでなく、その他の需要分野でも

今年度設備投資として、10月に基幹システムを更新する。サーバーの老朽化対応やシステム一元化などが狙いで、クラウド化し、BCP対策を兼ねた。「投資額は約3千万円。クラウド化によって、低コストで導入できた」。

『クリーン』であることは強みになる」とし、こうした取り組みをPRできるまでに高めていく方針。そのため、従業員の意識を変えるよう、1日5分間の掃除時間を設けた。「まずは簡単にできることから始める。まだ具体的な

このほか、塗装ラインの老朽化に対応するため、塗装機を更新した。投資額は約1億円。「CC機能だけでなく、塗装まで一貫してできるのが当社の強み。投資額は大きいはずだ」。

ことは決まっていらないが、必要なら設備投資も考えたい。クリーンな工場を目指すことはPRだけではなく、生産効率・安全性の向上にも役立つはずだ」。